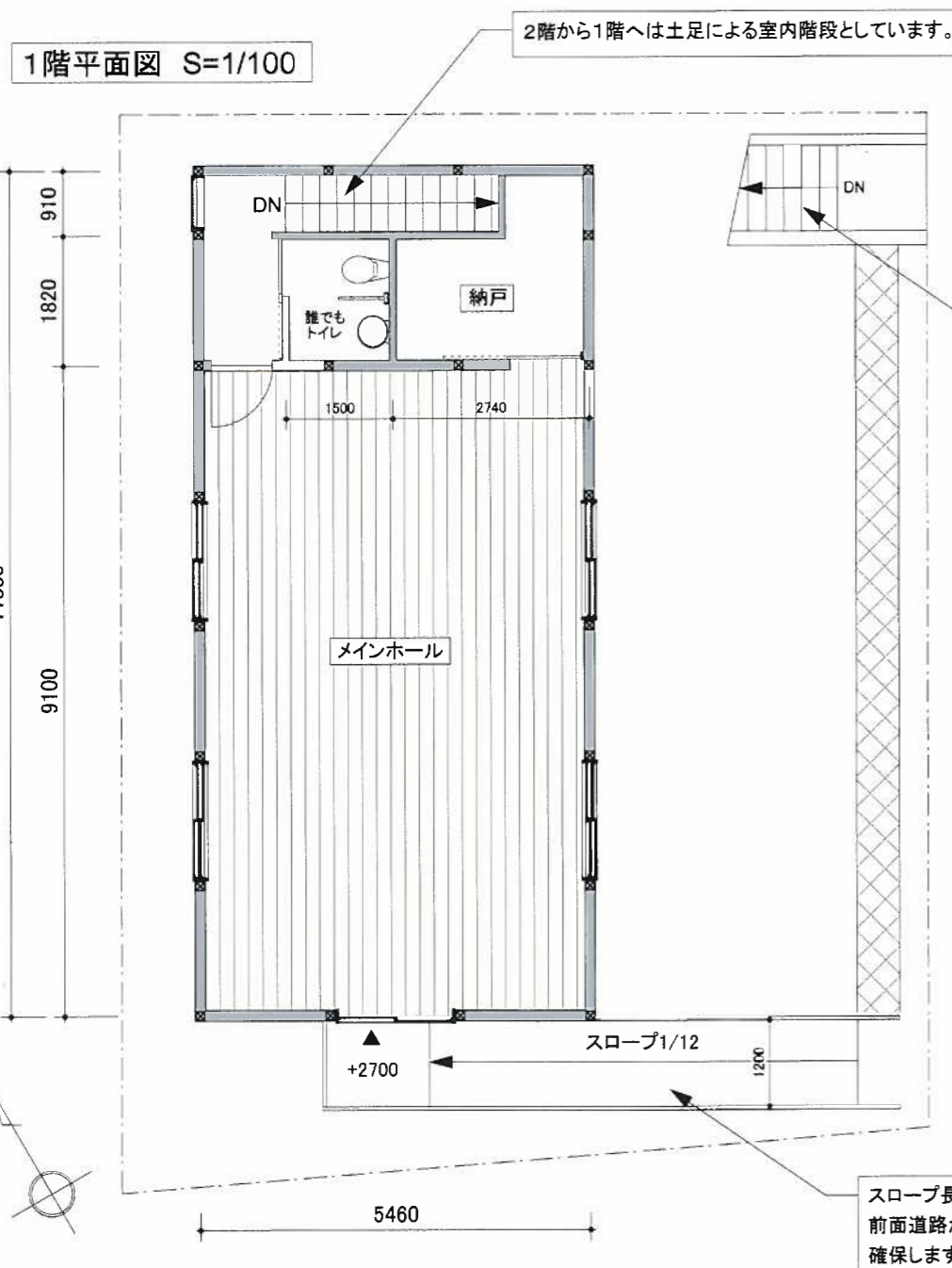




○前面道路からのパース  
コミュニティ広場に植えられた樹木が前面道路からも視認され街の景観に潤いを与えます。



○コミュニティ広場  
建物と前面道路との間にオープンスペースを作り出すことで街のコミュニティ広場スペースとして活用します。



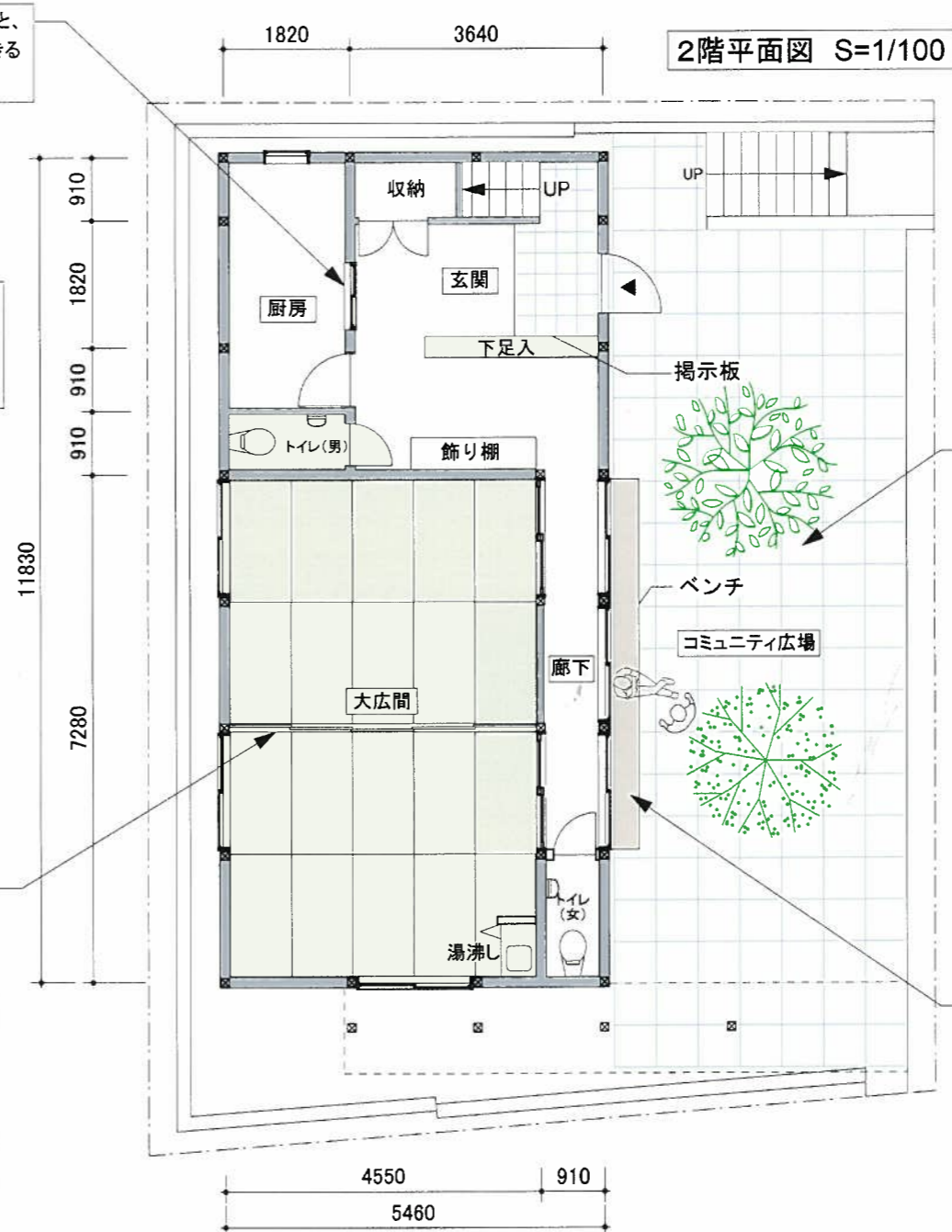
厨房内の様子が見えるようにすること、また室内外への配膳口として使用できるように玄関側の壁に窓を設けます。

低コストを実現するために1階への既存階段を再利用します。1階利用者はこの階段を利用してアプローチします。

前面道路  
+2200

大広間は廊下に面し、中央部に容易に取り外しのできる間仕切り扉を設けることで2室に分けて使用することが可能となり、自治会館の効率的な運営が可能となります。

スロープ長さを短くするために2階メインホールには前面道路から直接アプローチするバリアフリー動線を確保します。



建物の東側は植栽や外構を整備することで町のコミュニティを育む広場とします。普段は公園のように気軽に立ち寄れる場所になると同時に餅つきや防災訓練などの自治会イベントなどにも活用できます。また非常時には厨房を活用した炊き出しスペースなどにも活用できます。

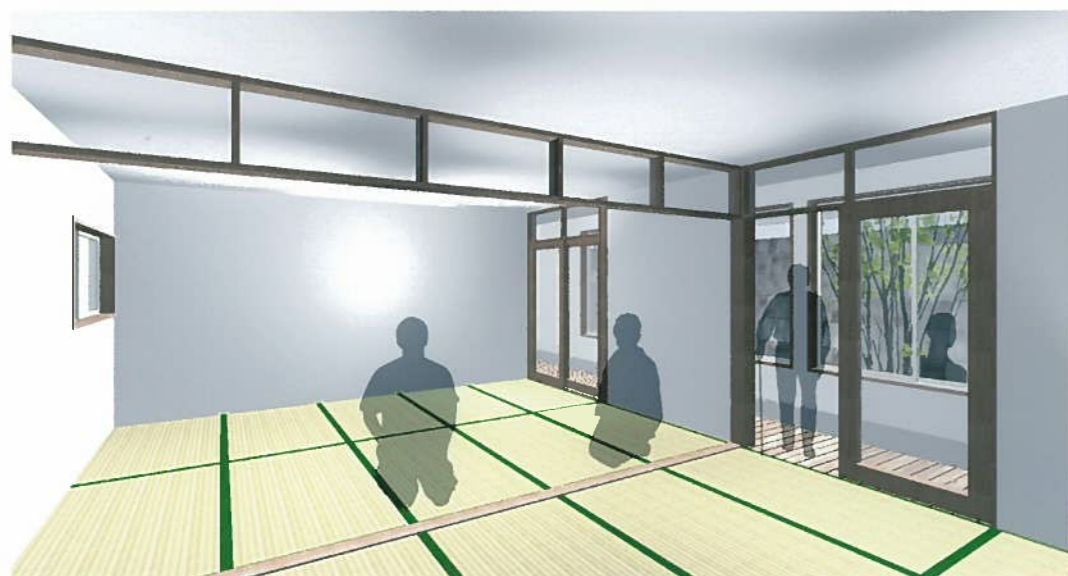
ベンチを設けることで軒先の縁側空間を作りだします。近所の方々が気軽に来られる自治会館を目指します。



○コミュニティ広場  
画像奥に見えるのが2階へのスロープ橋です。  
画像手前が1階玄関口です。



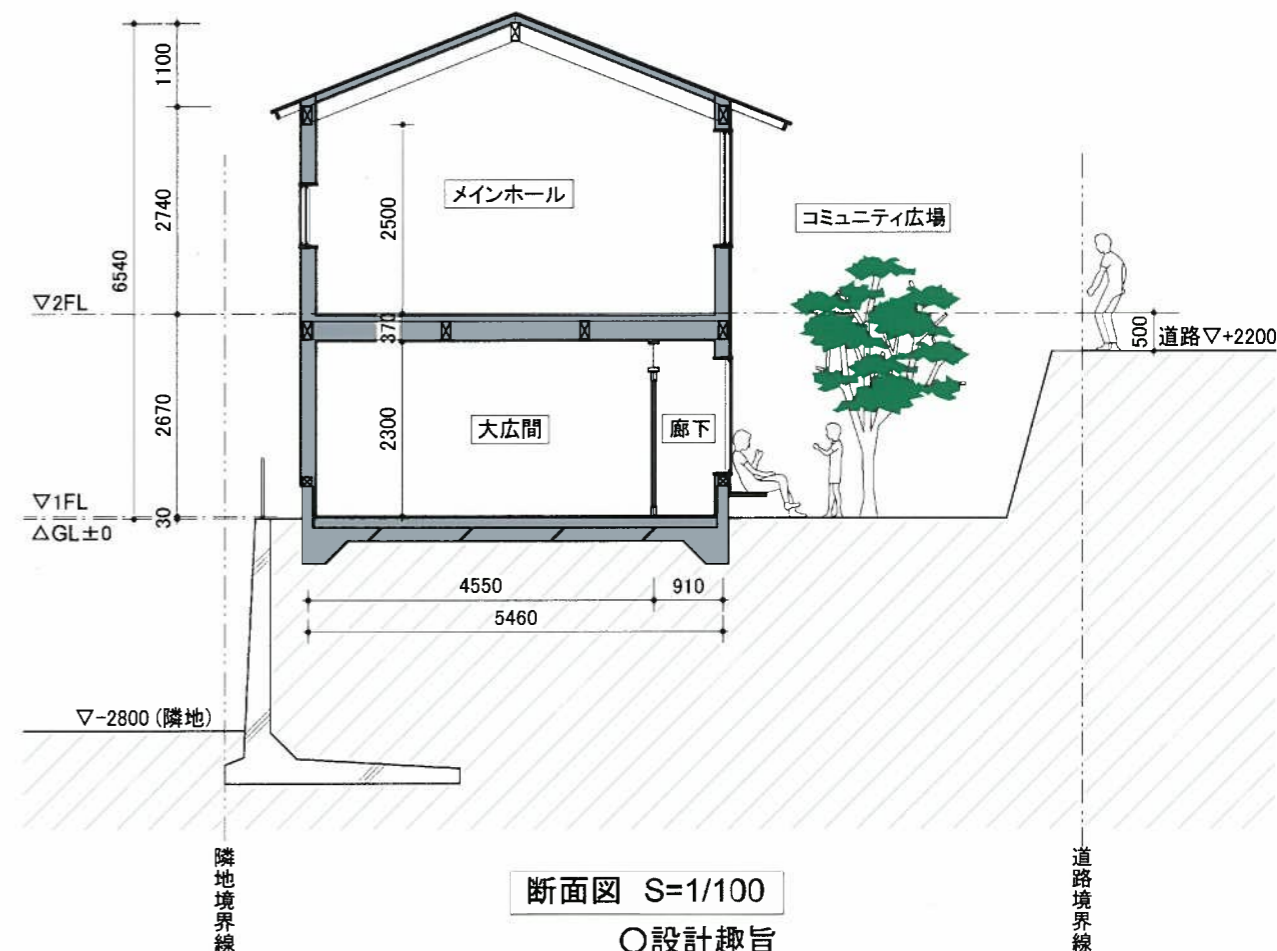
○2階メインホール  
切妻屋根の木の梁を露出することで広々として親しみやすいホール空間を実現すると同時にローコスト化を目指します。



○1階大広間  
大広間中央部に容易に取り外せる間仕切り扉をつけることで2室に分けて使用することも可能です。



○1階玄関  
下足入れの背面は掲示板として活用します。画像奥に見えるのは厨房の窓です。また下足入れの高さを抑えることで広さを感じる玄関空間をつくります。



断面図 S=1/100

○設計趣旨

- 町のコミュニティを育むため、建築及び外構計画に多様な仕掛けを盛り込みます。
- 耐震性を持った建物にする共に広場空間を整備することで災害時の活動拠点として機能する計画としています。
- 親しみやすさと温かさを実現するために内装や造作、建具に木を多用します。
- ローコスト化を目指すために建物の平面形状をシンプルな長方形としています。
- ローコスト化と外壁保護の観点から軒の出をもった切妻屋根としています。
- 初期費用と維持費用の低減を図るために使用実績の高い既製品を建材に多用しつつ、街のシンボルとなり景観に合ったデザインを目指します。

○計画概要

- 敷地面積: 164.5㎡
- 構造: 木造軸組工法
- 階数: 2階建て
- 建築面積: 66.96㎡
- 建ぺい率: 40.71%
- 延床面積: 64.60㎡(1階)+64.60㎡(2階)+2.36㎡(スロープ)  
= 131.56㎡
- 容積率: 80.0%
- 外壁・屋根: ガルバリウム鋼板塗装仕上げ